

高速増殖原型炉もんじゅの2次系ナトリウム漏えい事故について

平成8年2月2日
動力炉・核燃料開発事業団

1. 経緯

平成7年12月8日、「もんじゅ」の2次系（Cループ）において、ナトリウム漏えい事故が発生、原子炉を手動停止した。

1次主冷却系Cループと漏えいが発生した2次主冷却系Cループのナトリウムをドレンした後、2次主冷却系の各室に飛散したナトリウム化合物の除去・清掃作業、原因究明のためのロストパーツ探索作業を実施している。

2. 最近の状況

当該配管室等の床・壁等の清掃を継続して実施している。

1月26日から31日まで、ロストパーツ探索作業の第1段階として2次主冷却系の水平配管部の γ 線及びX線撮影を行ったが、まだ温度計ウェル細管部は確認されていない。現在、第2段階の準備として足場の組立を行っている。

また、2次系温度計部シール強化作業として28日と29日に2次系Aループの温度計に閉止キャップを取付け、30日に2次系Aループにナトリウムを充填した。

3. 今後の予定

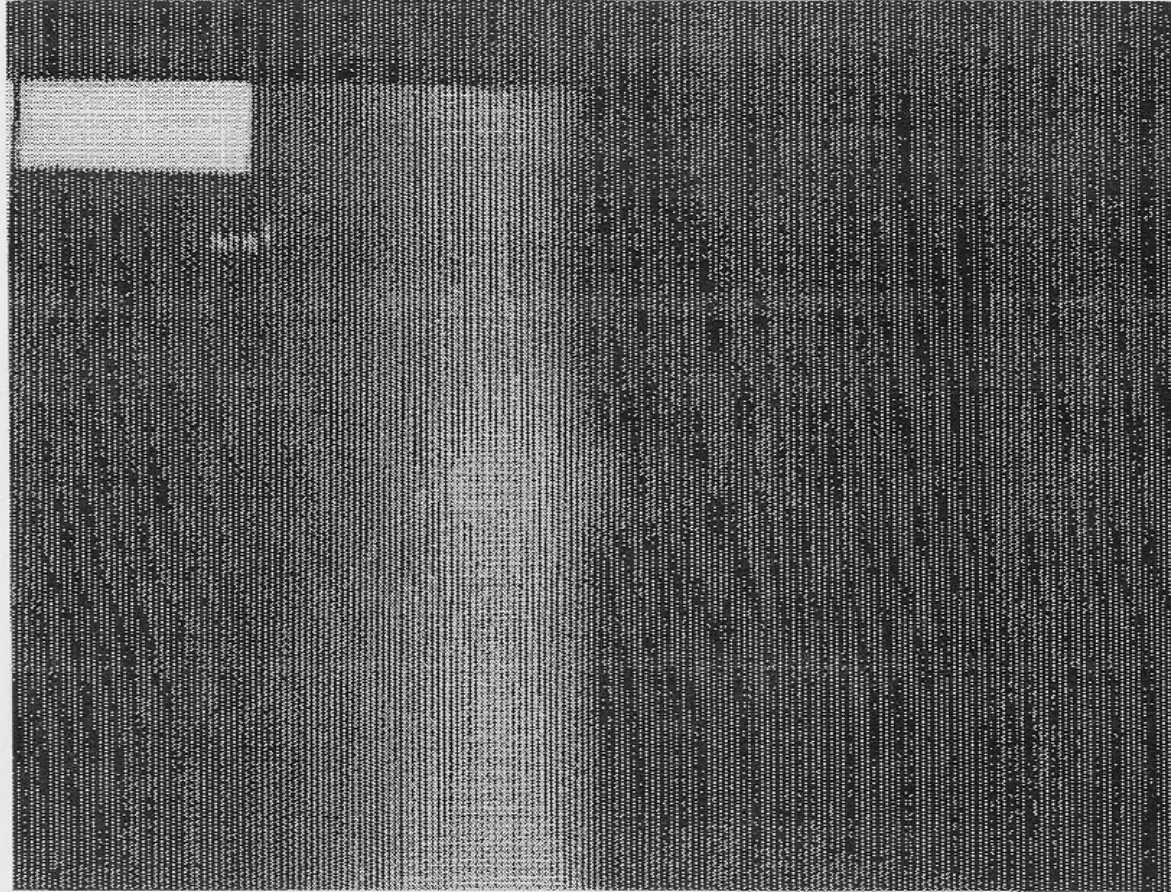
当該2次系配管漏えい部の温度計部を切断し、より詳細な調査を行う。また、ロストパーツの探索作業を継続して実施すると共に、2次系Bループ温度計部のシール強化作業を行う予定である。

以上

保温材を除去した後の、ナトリウム漏えい当該部のX線撮影の結果について

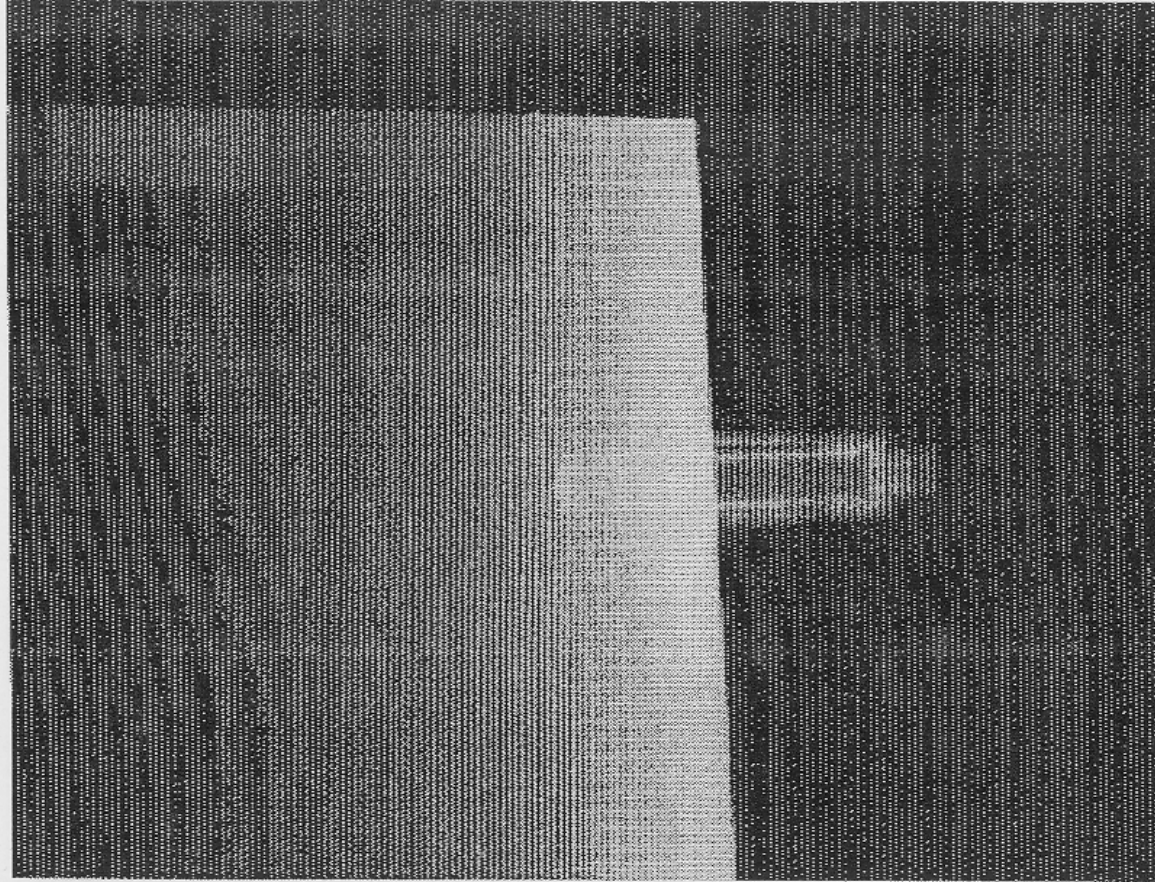
- 1) 温度計ウェル内のナトリウムの有無の判定は困難であった。
- 2) 温度計ウェルと管台との溶接部分には異常は認められなかった。配管と管台との溶接部分については撮影は不可能であった。
- 3) 温度計ウェル段付き部の根本から破断していた。破断面は多少のぎざぎざが存在していた。
- 4) 温度計ウェルと管台の隙間は均一になっていない。

2次主冷却系温度計部放射線撮影結果（保温材取り外し状態）



96年 2月 28日 18:15 0.001 0.00 原子力研究所

2次主冷却系温度計部放射線撮影結果（保温材取り外し状態）



昭和36年 2月 25日 18:17 放射線撮影部

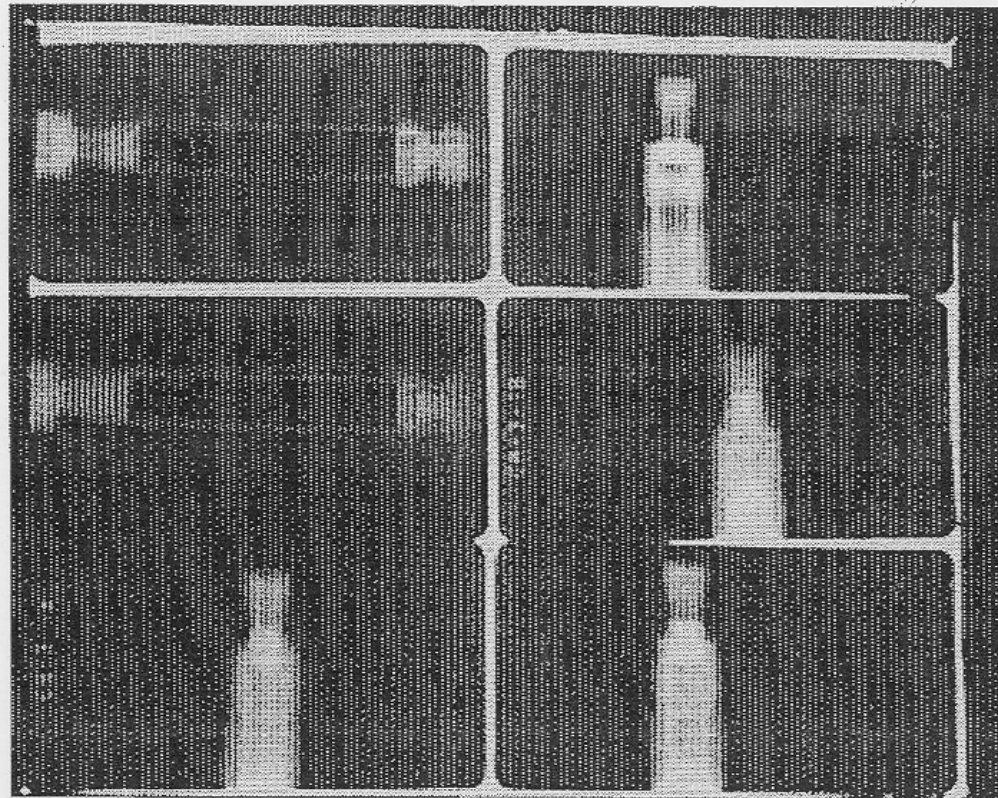
P. 5/9

1985. 28. 29. 18:18

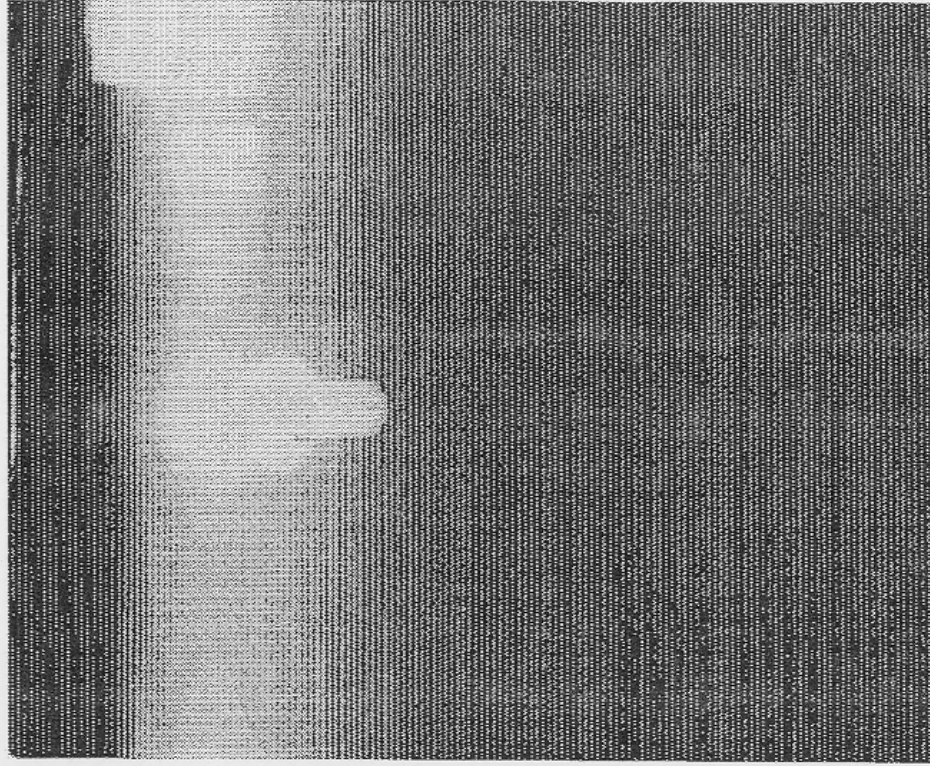
000000 電力調査

P. 6/9

2次主冷却系温度計部放射線撮影結果（保温材取り外し状態）



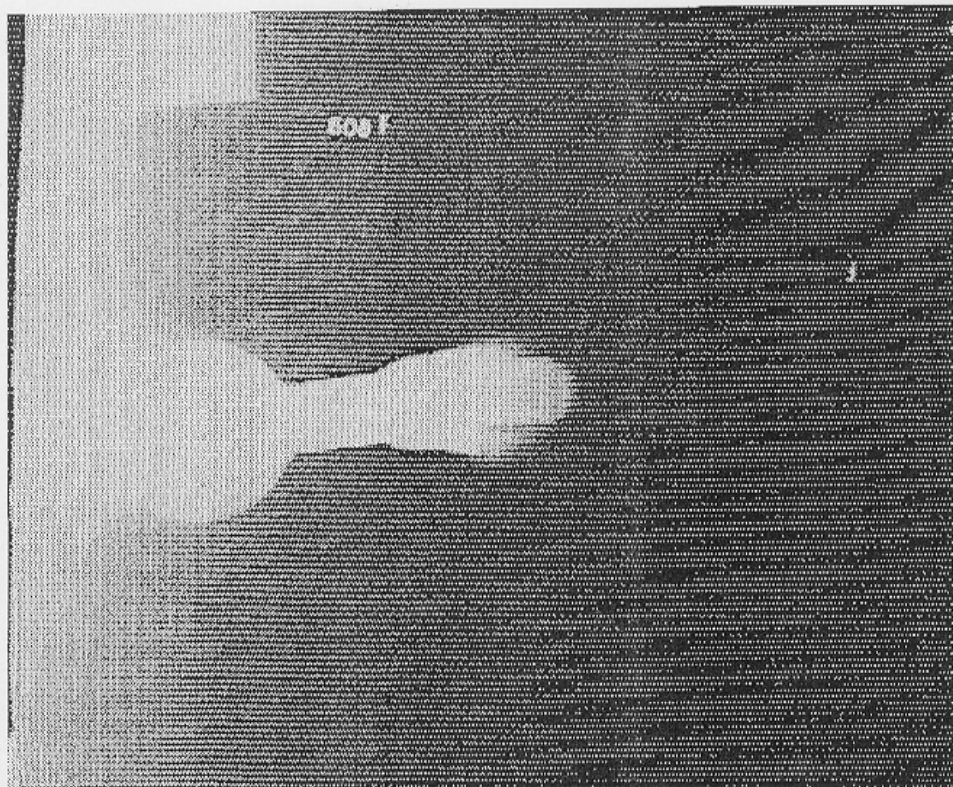
2次主冷却系温度計部放射線撮影結果（保温材取り外し状態）



1965年2月28日 18:20

08 5501 5128 原子力推進部

2次主冷却系温度計部放射線撮影結果（保温材取り外し状態）



2 次主冷却系温度系部放射線撮影結果 (保温材取り外し状態)

